父は忘れる　　　リヴィングストン・ラーネット

坊や、聞いておくれ。  
お前は小さな手に頬をのせ、汗ばんだ額に金髪の巻き毛をくっつけて、安らかに眠っているね。お父さんは、一人でこっそりお前の部屋にやってきた。  
今しがたまで、お父さんは書斎で新聞を読んでいたが、急に息苦しい悔恨の念に迫られた。罪の意識に苛まれてお前のそばへやってきたのだ。お父さんは考えた。これまで私はお前にずいぶんつらくあたっていたのだ。  
お前が学校へ行く支度をしている最中に、タオルで顔をちょっと撫でただけだといって、叱った。靴を磨かないからといって、叱りつけた。また、持ち物を床の上に放り投げたといっては怒鳴りつけた。

今朝も食事中に小言をいった。食物をこぼすとか、丸呑みにするとか、テーブルに肘をつくとか、パンにバターをつけすぎるとかいって、叱りつけた。それから、お前は遊びに出かけるし、お父さんは停車場へ行くので、一緒に家を出たが、別れるとき、お前はふりかえって手をふりながら「お父さん、いってらっしゃい！」といった。  
すると、お父さんは、顔をしかめて、「胸を張りなさい！」といった。  
同じようなことがまた夕方に繰り返された。私が帰ってくると、お前は地面に膝をついて、ビー玉で遊んでいた。長靴下は膝のところが穴だらけになっていた。お父さんはお前を家へ追い返し、友達の前で恥をかかせた。  
「靴下は高いのだ。お前が自分で金を儲けて買うんだったら、もっと大切にするはずだ！」これがお父さんの口からでた言葉だから、我ながら情けない！  
それから夜になってお父さんが書斎で新聞を読んでいるとき、お前は悲しげな目つきをして、おずおずと部屋に入ってきたね。うるさそうに私が目を上げると、お前は、入り口のところでためらった。「何の用だ」と私が怒鳴ると、お前は何も言わずに、  
さっと私のそばへ駆け寄ってきた。両の手を私の首に巻きつけて、私に接吻した。  
お前の小さな両腕には、神様がうえつけてくださった愛情がこもっていた。どんなにないがしろにされても、決して枯れることのない愛情だ。やがて、お前はばたばたと足音を立てて二階の部屋へ行ってしまった。  
ところが、坊や、そのすぐあとで、お父さんは突然何とも言えない不安に襲われ、手にしていた新聞を思わず取り落としたのだ。何という習慣に、お父さんは、取りつかれていたのだろう！  
叱ってばかりいる習慣・・・まだほんの子供にすぎないお前に、お父さんは何ということをしてきたのだろう！決してお前を愛していないわけではない。お父さんは、  
まだ年端もゆかないお前に、無理なことを期待しすぎていたのだ。

お前を大人と同列に考えていたのだ。  
  
お前の中には、善良な、立派な、真実なものがいっぱいある。お前のやさしい心根は、ちょうど、山の向こうから広がってくるあけぼのを見るようだ。お前がこのお父さんにとびつき、お休みの接吻をしたとき、そのことが、お父さんにはっきりわかった。  
他のことは問題ではない。お父さんはお前に詫びたくて、こうしてひざまずいているのだ。

お父さんとしては、これが、お前に対するせめてもの償いだ。  
昼間こういうことをはなしても、お前にはわかるまい。  
だが、明日からは、きっと、よいお父さんになってみせる。  
お前と仲良しになって、いっしょに喜んだり悲しんだりしよう。  
小言を言いたくなったら舌を噛もう。  
  
そして、お前がまだ子供だということを常に忘れないようにしよう。  
  
お父さんはお前を一人前の人間とみなしていたようだ。  
こうして、あどけない寝顔を見ていると、やはりお前はまだ赤ちゃんだ。  
昨日も、お母さんにだっこされて、肩にもたれかかって  
いたではないか。お父さんの注文が多すぎたのだ。

**面談の小ネタ**

精神的に成長できている優秀な生徒は、将来の展望を伝えてそれを意識できるので、

・将来役に立つから。仕事などの選択肢が増えるから勉強をする。といったタイプの話をすればOK

【精神的に幼い生徒へのネタ】（基本的なこちらのスタンスはまだ子供扱い）

→目先の楽しいこと、楽なことを優先してしまう生徒（宿題をやらないなどの生徒。

◆勉強する目的系

●努力の尊さを勉強を通して学べる。受験勉強で苦しい中努力した人としないで楽をした人はど

ちらが大人になったときに努力でき、成功する人間になっているか。

大人の社会も学歴は学力の基準として以外に、どれだけ過去に努力したかの判断材料としている。

●勉強する人はなぜ勉強するかとかを聞かない。勉強しない人に限ってそういうことを聞く。

●世界中でまだ読み書きできない人はいる。学校ができたら皆が喜ぶ国がある。

将来テレビもマンガもスマホも綺麗な洋服も無い国で暮らすならいいが、先進国で暮らすなら

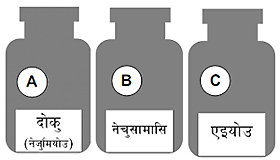
勉強は必要。例えばアフリカの原住民として、毎日槍を持って猟をして暮らすなら勉強の必要

はない。でも医者もいないし病気になったら村ごと全滅するから何歳まで生きられるか…。

●今現在まで、もし義務教育がなく勉強してなかったら。読み書きできない国だったらどうか。

国際協力　NGOスタッフブログより

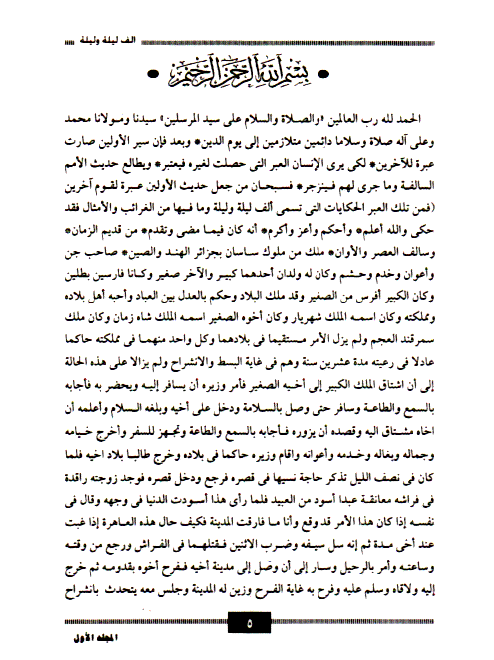
文字が読めないとどう困るのか？　少し、文字が読めない体験をしてみましょう。



「あなたの子どもが高熱を出して苦しんでいます。 でも近くに病院はなく、医者のいる町へ出るには山道を1日歩いた上にバスに7時間も乗らなければなりません。 いつもは先生が薬を出してくれますが、先生は町に出かけており留守です。 いつも先生が薬を取り出している棚には、ビンが3つあります。 しかし、何と書いてあるか分かりません。さらに棚の中にはネズミ除け用の農薬が入ったビンもしまってあります。 さあ、どのビンを選びますか？」

正解は、B（熱冷まし）。  
Aは毒（ネズミ用）、Cは栄養ドリンクです。  
※それぞれ、A「ドク（ネズミヨウ）」、B「ネツサマシ」、C「エイヨウ」と書かれています。

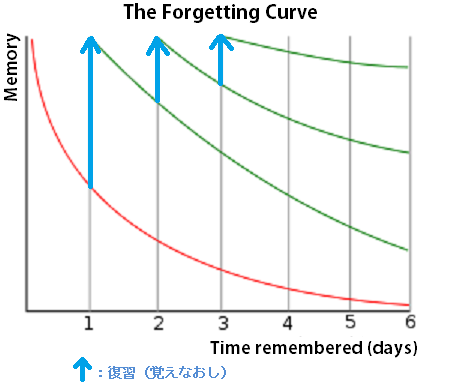
●本やゲームが楽しめない。

本やゲームだと



※仮に、今現在まで勉強しなかったらどうなっていたかということを振り返ることで、

今後勉強しなかったら大変だということを説明する。（ゲームや漫画も楽しめない。）

◆継続して勉強する大切さ系の話の例

●宿題をしないより、した方がトータルの勉強

時間は減って楽

・エビングハウスの忘却曲線

●日々の差が目に見えないけど大きな差になる。

新井白石の米粒の話。

「米粒一粒の変化は気づかないけれど、

毎日一粒ずつ取っていくと、１年、２年経てば

差がわかる」

　　　　↓

どこかの塾の先生が塾で話をする用にアレンジした「１０００枚のコピー用紙」

中学３年生の数学の授業中で、机の上に１０００枚のコピー用紙を前に話した。

「君たちすべての人が、可能性という１０００枚のコピー用紙を持って生まれてきた。

君たちすべての人が、今もまだその１０００枚をもっていると仮定しよう。

今日、部活がきつくて塾を休んだＡ君はそのコピー用紙を一枚ゴミ箱に捨てた。

数学の問題を飛ばして解いたＢさんも１枚捨てた。

宿題をしてこなかったＣ君は５枚捨てた。

チョットだけ目を閉じてごらん。」

そう言うと僕は１０００枚の中から５枚だけ紙を抜くと机の下に隠した。

「じゃ、目を開けてよくみてごらん。何か変わった？」

だれも９９５枚の紙をみても変化に気づかない。

５枚くらい減ってもだれも気付かないものだ。

「今、少しだけサボった。１枚の紙を捨てた。小さな過ちだ。

でもその変化にはだれも気づかない。

しかし、毎日５枚づつ捨てることを１００日繰り返してごらん。

５００枚の紙がなくなったら、どんな人でも気づくよね。」

そう言って僕は５００枚をゴミ箱に捨てた。

いつも心の中に１０００枚の紙をイメージして生活してほしい。

今の自分の行動は、１枚の紙を捨てたことにならないか？

なぜ、勉強をしないといけないのか？

なぜ、挨拶しないといけないのか？

なぜ、うそをついてはいけないのか？

なぜ、仲間はずれをしてはいけないのか？

すべては、自分の可能性という白い紙を捨てることだから。

逆にいま苦しくとも努力をすると紙が１枚１枚増えていく。

毎日１枚１枚の紙の増加には、だれも気づかない。

でも、それが１５００枚２０００枚になったとき、それを人は成功しているとよぶ。

たった１枚、その１枚を大事にする人が成功するにちがいない。

いつも心の中に１０００枚のコピー用紙を。

◆科目ごとに「必要ないじゃん！」系の話の例

●一般常識は知らないと将来恥ずかしい。

・英語

PCの翻訳サイトなどを使って、

お店の名前を英語化しようとしたが

「翻訳サービスに接続できません」

　と表示されてしまったのにも気づ

かない

・国語力はすべての学力のベース

国語の問題の文章を読んで、読み取れずもう一度同じ文章を読み直すことがあるよね？

人の話を聞いたり、学校の先生の授業を聞いて、頭の中で反芻して理解することってあるよね？

あ、反芻ってわかる？繰り返し考えることね。

コンテンツを見ても、１回で理解できずに、繰り返し見返すことがあるよね？

それを１回で理解出来たらどれだけ勉強の効率がいいかわかる？単純に２回読んだり聞かないと

理解できない人は、２倍の勉強量が必要になっちゃうから。

人と話していても、コミュニケーション能力にどれだけ有利かわかる？

あとは語彙は大事だよ。例えばさっき反芻って言葉言われて意味わからなかったよね。こういう

ことがあると、今後会話してても、問題文読んでいても、どういう意味だかわからないってこと

がおこってきて、それこそ文章でも話をされても理解できないから。

・数学

もちろん、計算は必要。（私生活において。）

論理的思考ができなくなる。→筋道を立てて、物事を説明できない。相手に伝わらない。

　・社会・理科

　　既に子供達にとって一般常識であることを例に挙げて、もしそれを知らない友達がいたらどう？

